～人権はみんなが持つもの守るもの～

川西人権協だより

編集・発行　川西市人権教育協議会　川西市中央町１２-１（人権推進多文化共生課内）　TEL（072）740-1150

第53回川西市人権教育協議会定期総会

５月１８日、定期総会を開催しました。事業報告、役員案、活動の総括と方針、予算案など、提案された議案は、全て承認されました。

承認されたことをもとに、2023 年度の活動を進めてまいります。

2023 年度　川西市人権教育協議会　役員

役職名	名前	所属	専門部会	名前	所属
会長		学識経験者	就学前教育部		多田幼稚園
副会長		特・小学校長会	小学校教育部		久代小学校
		総合センター	中学校教育部		川西中学校
書記兼会計		PTA 連合会	高校教育部		川西北陵高等学校
常任理事		人権関係団体	進路保障部		明峰中学校
		PTA 連合会	特別支援教育部		川西養護学校
		総合センター	行政部		教育推進部
		川西南公民館	校区人権啓発部		久代小学校区
		教育保育課	監事		元 常任理事
事務局長		人権推進多文化共生課	監事		元 就学前教育部長

会長あいさつ

『人権を生涯学習のテーマに･･･』

平素は川西市人権教育協議会の活動に御協力いただきありがとうございます。新型コロナウイルス感染拡大で制限されていた行動様式ですが、以前に比べると大きく緩和され、まだ気を付けなければいけない部分もありますが、感染拡大前の日常生活に戻る努力がされています。

感染拡大の３年間では命の不安さえ感じることもあり、いろいろな集まりもストップして、会って思いを交わすことが出来なくなりました。ただ、替わりにオンライン活用の機会を増やし、２月の研究大会などもオンライン併用で実施し活動を継続することが出来、便利さを実感することもありました。今すぐに感染の心配がなくなり、以前と同じようにというわけにはいかないかもわかりませんが、これからも『人権』について発信し、一緒に考え行動出来ればと思います。

特に今年は１１月に全国人権･同和教育研究大会が明石をメイン会場として京都･大阪との合同開催で行われます。水平社宣言から１０１年目、新たなスタートとして、誰もが人権を生涯学習のテーマとして生活していけるようこれからも活動を進めていきたいと思います。どうかよろしくお願いいたします。

新役員の皆さんからのメッセージ

『新役員（副会長）として』

こども施策を社会全体で総合的かつ強力に推進していくための包括的な基本法として、こども基本法が令和４年６月に成立し、令和５年４月に施行されました。

6つの基本理念の中で、最初に明記されているのが、「すべてのこどもは大切にされ、基本的な人権が守られ、差別されないこと」です。これは、日本国憲法において保証される基本的人権の尊重と同じであり、人権尊重が民主主義社会の根幹であることがわかります。

だれもが心豊かに暮らせる社会であり続けるため、まずは自分がかかわりの深い教育関係機関、そして、地域社会の中で、その組織の一人として、差別解消と人権尊重の啓発に力を尽くしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

****

『常任理事として』

今年度、常任理事として務めさせていただくこととなりました〇〇 と申します。

「人権教育」と聞くと、これまでは「同和対策問題」についてが主だったように感じていましたが、昨年４月に川西南公民館長に着任してからは「外国人多文化共生」・「ヤングケアラー」・「ネット社会の現状と今後の方向性」・「おとなの発達障害」・「性の多様性」など様々な課題があることを知りました。

現職では、「職員人権担当員」として啓発資料「ひょうご人権ジャーナル　きずな」の記事を職員と共有し地道に人権教育の啓発を行なっているところですが、この度「人権教育協議会常任理事」に就任したことをきっかけに、自身の人権教育に対する自己研鑽の機会と捉え、改めて身が引き締まる思いであります。

微力ではありますが、責務を果たせるよう尽力していきますのでよろしくお願いいたします。

『常任理事会メンバーとして』

常任理事

今年度から川西市人権教育協議会の常任理事会のメンバーに加えていただき、なぜ私がという思いと、人権に関わって２年間の自分で務まるのかという不安の中でスタートしました。

しかし、常任理事会に参加してみると理事の皆さんが、それぞれの方の意見を尊重し、発言されるのを見て、無理に気負うのではなく、思ったことや感じたことを素直に伝えることができたらいいと思うようになりました。それからは、少しずつですが、日常で見聞きしたことから、今度はこのことを話したらどうかな、皆さんに伝わるようにするにはどう話したらよいかなどと考えるようになりました。

先日、新人職員の研修で50人ぐらいの方に、人権と男女共同参画についてのお話をする機会がありました。いろいろ準備したのですが、堅い話ばかりで、先に述べた日常で見聞きし、話そうと思っていたことは、最後は駆け足の説明になったため、話すことはできませんでした。

早速つまずいてしまいましたが、これが私の個性かもしれませんので、うまくつきあいながらやっていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

****

『行政部長になって』

行政部長

今年度、行政部長をさせていただくことになりました。川西市教育委員会事務局教育推進部の〇〇と申します。

コロナ禍の生活から従来の生活に戻りつつある社会状況の中、未だ様々な制限があり、私たちはその中でストレスを感じながら生活しているのが現状です。このストレスが市民の生活を脅かすような人権侵害につながらないよう行政としても人権に対する意識をしっかり高めていくことが必要となります。

行政部会では、市職員、教職員の人権問題の認識を深めるため、職場内での人権研修を計画的に実施し、人権意識の向上を図っていきたいと考えております。だれもが幸せを感じるまちづくりをめざして取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

『人権と私』

常任理事

今年度、常任理事を務めさせていただきます、〇〇申します。

子育て中の保護者として、PTA役員として、ひとりの川西市民として、できることは何なのか。人権について学び、気づきを促し、伝えていく１年にしていこうと考えています。

人権を学んでいる子どもたちの親だからこそ、より自覚をもって活動に取り組んでまいります。

今年１年、どうぞよろしくお願いいたします。

****

『就学前教育部長になって』

就学前教育部長

今年度、就学前教育部長をさせていただきます多田幼稚園の〇〇と申します。現在メディア等で性の多様性、ヤングケアラーなど様々な人権問題が取り沙汰されています。就学前教育では”不適切保育”についても世間を騒がせています。就学前教育部会ではもう一度職員一人一人が自分の人権意識を見つめ直し、様々な問題に対応できるように交流や研修を深めていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

****

『高等教育部長になって』

高校教育部長

この4月から、県立川西北陵高等学校に着任しました〇〇です。

今、高等学校では総合的な探究の時間を推進する中で、地域との連携を深め、豊かな人間関係を基盤とした生活体験を教育に取り入れています。多様な価値観に触れ、他者の思いを想像する力を育てることが、自己肯定感を培うことにつながり、人権意識を高めていくことにつながります。川西市人権教育協議会の様々な取組と連携を通して生徒の人権意識を高めていきたいと思います。１年間どうぞよろしくお願いいたします。

『特別支援教育部長になって』

特別支援教育部長

今年度、特別支援教育部長を務めさせていただきます、川西養護学校の〇〇と申します。川西市人権教育協議会へ初めての参加になります。私は、子どもたち一人ひとりの個性を大切にし、「一人ひとりの丁寧な学び」、「みんなで一緒の学び」の両方の実現にこれこらも進めていきたい。子どもたちが、自分を大切に、自他を大切することができる教育が大事です。私は、さまざまな活動を通して人権意識を高める１年にしたいです。

よろしくお願いします。

****

『こどもの人権を中核に』

常任理事

１年ぶりに再び川西市人権教育協議会の常任理事を務めさせていただくことになり、とても嬉しく感じています。

さて、この４月に「こども基本法」が施行されました。同法は、「こどもの人権が保障され、差別的な扱いを受けることがないようにすること」「教育を受ける機会が等しく与えられること」「こどもが意見を表明する機会が確保され、その意見が尊重されること」等を基本理念としています。

この基本理念は、あらゆる人権課題に共通している考えであり、まさに人権教育の中核になるものだと感じています。これまで「差別をなくす」「平和な暮らしを守る」ことを願い、皆さまが取り組まれてきたことを継承しながら、先行きが見通しづらいこれからの時代をこどもたちが生き抜いていけるよう、少しでも力になりたいと思います。

2023 年度小学校区人権啓発推進委員長

	久代小学校区人権
	加茂小学校区人権
	川西小学校区人権
	桜が丘小学校区人権
	川西北小学校区人権
	明峰小学校区人権
	多田小学校区人権
	多田東小学校区人権
	緑台小学校区人権
	陽明小学校区人権
	清和台小学校区人権
	清和台南小学校区人権
	けやき坂小学校区人権
	東谷小学校区人権
	牧の台小学校区人権
	北陵小学校区人権

理事・代議員の皆さまへ

各学校園、各市民団体から当協議会の理事・代議員になられた皆様、１年間よろしくお願いいたします。

理事や代議員の皆さまにおかれましては、現在お住まい若しくは、職場のある地域（小学校区）の『〇〇〇小学校区人権啓発推進委員会』の〝委員〟にもなります。

委員の仕事としては、各小学校区ごとに人権啓発活動を推進していただく役目となります。具体的には、地域のお祭りで啓発グッズを配布したり、公民館で人権DVDの視聴会や学習会を行ったり、人権標語を作成したりされています。活動をする際は地域コミュニティや自治会、学校関係の方との連携も必要になるかと思います。

詳しくは、川人協の総会資料に掲載しています。

今後、左記の各校区委員会より会議等の〝案内〟が来るかと思います。何かとお忙しいとは思いますが、地域に根ざした人権教育・啓発活動が推進され、こころ豊かな地域社会が築いていけますようにご協力・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

前中　豊　さん　追悼

昨年まで、川西人権協の顧問を務めていただき今年の3月に亡くなられた人権協の前の会長の前中豊さん。

前中さんは長年川西市の人権啓発に深く関わってこられました。

市役所の職員として、人権関係の要職を務められ、退職された後は人権協の常任理事、その後は副会長、そして２０１３年度から4年間は会長として関わってこられました。

その会長を退かれる2017年定期総会の挨拶の中で、次のように述べておられました。

「より深く心に刻まれたのは、様々な立場で生きづらさを抱えながら、その生きづらさと懸命に立ち向かう『当事者』と呼ばれる方々との出会いでした。部落差別と闘う人、心身に何らかの障がいがある人、日本以外にルーツを持った人、性的少数者と呼ばれる人たちとの出会いこそが、他人事で終わりかねない人権問題を自分事として今日まで私を引っ張ってきてくれました。・・・

少しばかり立ち位置は変わりますが、私はこれからの人生の終焉まで、この学びや活動をまだまだ楽しみたいと思っていますので、今後とも宜しくお願い致します。」

この挨拶文をいただいたのが、今から6年前のことです。会長を退かれた理由は、耳が不自由になってきて、周りの人たちの話が聞き取りにくくなり失礼になることが多くなってきたからということでしたが、その後も、人権啓発サポーター会の一員として、春の「人権学習市民講座」、秋の「人権学校」の企画・計画・実施に関わり、人権を生涯の学習のテーマとして実践されました。

誰もがこのように、生きていく中で、自分の課題の一つとして人権を考えることができれば、もっと生きやすい社会が実現するように思います。

今、あらためて前中豊さんの思いに触れ、人権を生涯の学習のテーマとして、皆さんとこれからも活動を進めていきたいと考えています。

人権啓発 DVD「バースデイ」を鑑賞

第 53 回川西人権協定期総会で鑑賞しました DVD は、兵庫県人権啓発ビデオ「バースデイ」でした。この作品は、「性の多様性を認め合う～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」をテーマとし、主人公とその家族、職場の人々との交流などが描かれています。親としての感情ゆえに、はじめは拒絶する親が、性の多様性について少しずつ理解が進み、自分らしく生きようとする我が子の苦悩や願いに気づき、向き合っていこうとします。

見る方々が自分自身の問題として考えるきっかけとなる教材です。今回の鑑賞後には、小学校区や職場、学校など多くの皆さまにご利用いただいております。人権推進多文化共生課で貸し出ししておりますので、人権研修会等で、ご活用ください。

研究大会①

●第70回阪神地区人権・同和教育研究大会（猪名川大会）

４年ぶりに阪神大会が開催されました。7 月 29 日（土）

猪名川中学校・猪名川文化体育館で行われました。参加者は約800人、熱心に討議が行われました。川西市からは役員も含め、85人が参加しました。

川西市からは３本の実践報告をしていただきました。

◆就学前教育部会　　久代幼稚園

ありのままの姿を受け止め、共に育ち合う仲間づくりをめざして

◆小学校教育部会　　川西養護学校

実態把握からの目標設定について

◆中学校教育部会　　明峰中学校

性の多様性に対する寛容の態度の育成　～明峰中学校における取組について～

〈参加者の感想より〉

・実践発表を聞くことができ有意義な時間でした。他市や他校での取り組みや子どもの様子を聞き、皆思いは同じ、日々教育活動に向きあっているのだと再認識しました。

・異なる市の園所の報告を聞いた後にグループ討議を１時間行うことができ、今日の報告や討議の柱への理解が深まりました。グループの中に行政の方、園所長、子育て支援、フリー、4、5歳担任など、様々な職種の方がいらっしゃり、多面的に色々な角度から話ができ、新しい視点を得たり、アドバイスをもらったりすることができました。グループ討議があることで学びが深まったと思います。

・特別支援学校の人権教育についての考え方をうかがい知ることができた。小学校における特支学校在籍児の取り出して行われる自立的活動の大切さを感じ、これに重点を重く必要性を感じた。

・PTA がなくなるのは時代だなあ。仕方なくやる活動でなく、自発的な活動になっているのはすごいことだと思う。皆が輝いているなあと感じた。

・芦屋からのヤングケアラーについて、１年程前に聞き知りました。本日の報告会で「知ろうとしないから知らない！」との発言はショックでした。私も、民生委員、児童委員の立場としては、本当に恥ずかしいばかりでした。・・・・

・ヤングケアラーという事について、初めて知りました。色々と考えさせられる内容だったなと思いました。とても難しい課題で、これからしっかりと考えていかないといけない事なんだと気づかされました。ヤングケアラーについて知っていく広めていく事をしようと思いました。

・2014 年に仲岡しゅんさん（LGBT 当事者）の講座を開催してから、何度か教育現場での取り組みをアプローチしたが「LGBT」への理解は深まっていなく、残念な思いを経験しましたが、今日の教育現場の先生方の取り組みの報告や実践、今後の課題への熱意の大きさに驚きさえ覚え、「声」にして伝え続けると社会は少しずつですが、かわっていくことを実感でき、嬉しい一日となりました。ありがとうございました。

研究大会②

2023年度 合同研修会

「水平社100年を経て考える人権」
～部落問題を中心に～

８月25日（金）、川西市総合センター３階体育室で「川西市人権教育協議会・合同研修会」を開催しました。講師に関西大学人権問題研究室　委嘱研究員　宮前　千雅子　（みやまえちかこ）さんをお招きし、ご講演いただきました。

今年は教育委員会との共催として実施し、人権教育に携わる多くの先生方にとっても学ぶ機会となりました。感想からも参加された皆さんから「知る」ことの大切さや感謝の気持ちが伝わってきました。

宮前さん、ありがとうございました。

【参加者の感想より】

・近年の 「部落差別」のデータ、インターネット上の課題、昭和時代に「部落地名総監事件」も 知ることができました。『差別しない社会、差別をしないのは当然、尊敬し合う関係制を持つ』に向かって、進んでいきたいと 強く感じました。これからも学んでいきたいです。

・難しい話もありましたが、「わたし」として部落問題を知り、向き合う必要性について語られました。どの課題にも通じることだと思いました。要は「わたし」なんですよね。継続して部落問題を考える機会をいただき感謝申し上げます。

・被差別当事者の思いや葛藤を聞き、新たに学ぶことが多くあった。当事者と非当事者とのあいだに広がる深くて広い溝、これを乗り越える方法を双方が考えていく必要がある。住田さんの講演会を思い出した。カムアウトの意味、マジョリティとマイノリティ、などいろいろ教えられた。

・知らないことは何の力にもならない、とても印象深い言葉でした。

・私自身、小学校時代同和教育推進校で、たくさんのことを学習しました。40年近く前の話です。その時に学んだことが、今も同じように語られていることに、部落問題の根深さを感じます。

・宮前さんのお話、とてもわかりやすかったです。自分の中のマジョリティ、マイノリティあるなと。マジョリティのもので、人権課題に関わっていこうと言う言葉が響きました。マジョリティが動くこと、大事ですね。そして、こういったお話を定期的に聴く大切さを感じました。

・大変聴きやすく理解しやすい講演でした。たくさんの方に聴いていただきたい内容です。ありがとうございました。要約筆記は、聴力に問題がない者であっても，理解に助けになるものだと感じました。

・「知る」ことがいかに大切なことか、人とつながることの大切さも改めて考えることができました。

・『寝た子をおこすな論』がいかに間違ったものであるのかが、たいへんよく分かりました。

研究大会 案内

●第74回全国人権・同和教育研究大会
兼 第70回兵庫県人権教育研究大会 中央大会

◇日時：１１月25日（土）～26日（日） 場所：兵庫県、大阪府、大阪市、京都府

参加希望のかたは、各小学校区人権啓発推進委員会委員長さん、または事務局までお知らせください。詳細は、全国人権教育協議会の HP をご覧ください。

●第36回川西市人権教育研究大会
2024（令和6）年2月7日(水)　　アステ市民ホール
開催時刻や内容などにつきましては、後日お知らせします。

お知らせ

2023 年度　現地人権学習会について

１２月１４日（木）　京都方面　龍安寺　立命館大学国際平和ミュージアム
１２月２１日（木）　岡山方面　国立療養所長島愛生園
各コース、３５名の参加者を募ります。
詳細につきましては、各小学校区人権啓発推進委員会委員長さんにお知らせします。
参加希望の方は、各小学校区委員長さんの方まで申込ください。

「人権写真コンテスト in かわにし」に参加してみませんか

写真の作品を募集しています。人権の視点で身近な風景を写してみませんか。
応募方法など詳しくは、市のホームページをご覧ください。

【編集後記】

コロナ禍がようやく少し落ち着き、マスク生活から解放され、学校行事や地域のお祭りなども行われるようになりました。

また、4 年ぶりに阪神同教研究大会が開催され、各分散会では、お互いの顔を見ながら熱心に討議が行われました。参加されたみなさんの顔からは、達成感のようなものが感じられました。

しかし、物価高や少子高齢化、温暖化、近隣諸国との問題などニュースを見れば課題が多く、生き苦しくなるような世の中です。

人権を大事にすることは人々の幸せにつながること。物欲、私欲にはしらず、幸せに生きることを考えていきたいと考えるこの頃です。

本協議会の活動が、少しでもみなさんの幸せに繋がりますように。